

D I AM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド <DC年金>

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I AM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>」は、2019年4月18日に第6期の決算を行いました。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に内外債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年4月19日～2019年4月18日

第6期	決算日：2019年4月18日	
第6期末 (2019年4月18日)	基準価額	12,149円
	純資産総額	191百万円
第6期	騰落率	△0.1%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

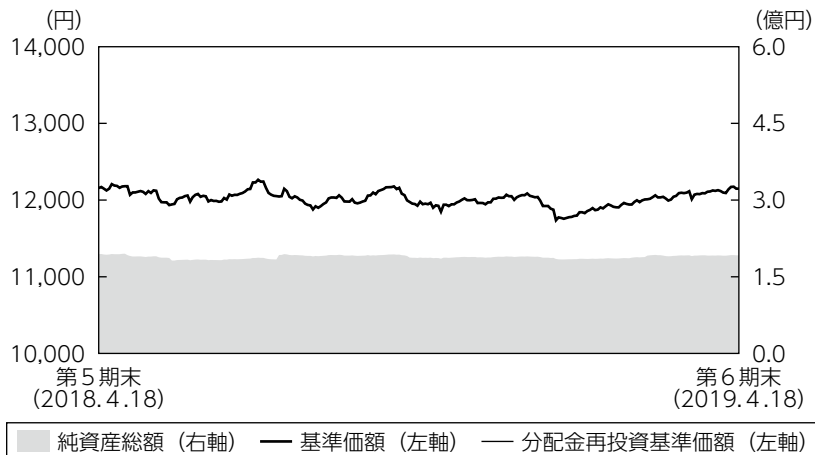
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第6期首：12,158円
 第6期末：12,149円
 (既払分配金0円)
 騰落率：△0.1%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国やドイツでは短期金利が上昇（価格は下落）した一方、中・長期金利が低下（価格は上昇）し、グローバル社債のクレジット・スプレッドが拡大した環境下、国債を中心に保有していたことなどがプラス要因となりました。しかし、為替市場でユーロや英ポンドなど主要通貨に対して円高の展開となったことなどがマイナス寄与となり、前期末比で基準価額は若干下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I A Mケイマン・ファンド—Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2	0.6%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

- (注) D I A Mケイマン・ファンド—Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1 万口当たりの費用明細

項目	第6期		項目の概要
	(2018年4月19日 ～2019年4月18日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	92円	0.767%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,021円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(29)	(0.238)	
(販売会社)	(58)	(0.486)	
(受託銀行)	(5)	(0.043)	
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	93	0.770	

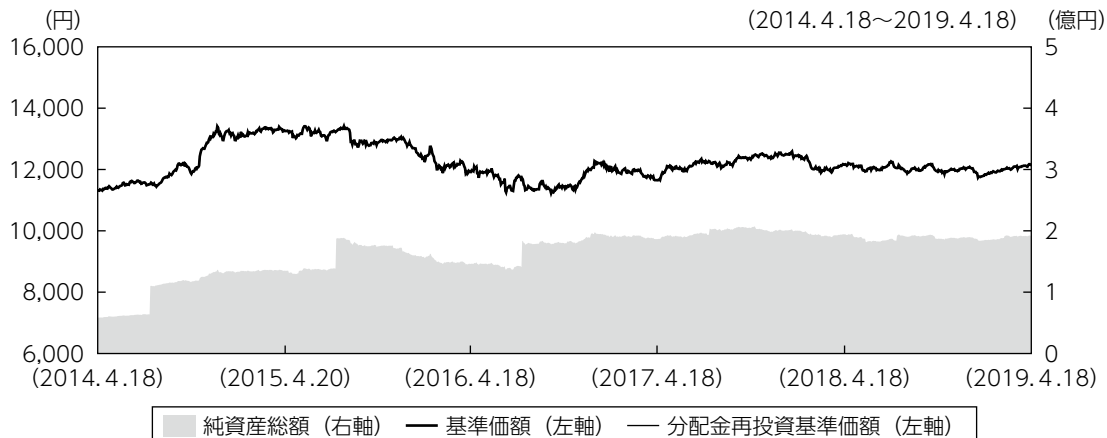
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年4月18日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年4月18日 期首	2015年4月20日 決算日	2016年4月18日 決算日	2017年4月18日 決算日	2018年4月18日 決算日	2019年4月18日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,312	13,260	11,920	11,653	12,158	12,149
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	17.2	△10.1	△2.2	4.3	△0.1
純資産総額 (百万円)	58	134	146	186	194	191

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

グローバル債券市場は若干下落しました。期前半は、米国で利上げペース加速への懸念が強まり、金利が上昇したことから軟調な展開となりました。期後半には、米国の景気減速懸念や米中の貿易摩擦、欧州の景況感悪化などを背景にリスク回避の動きが加速し、グローバル債券は堅調に推移しましたが、2019年4月にやや下落し、前期末比では若干下落しました。

為替市場では、米国外地域の経済指標の鈍化が進んだ環境下、米ドルがユーロや円など幅広い通貨に対して上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.3%台～△0.1%台で推移するなど、レンジ内の推移となりました。米国の金融引き締めペースはやや鈍化しつつありますが、日本の金融政策には変化がないことから国内短期金融市場への影響は限定的でした。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I A Mケイマン・ファンドー J a n u s グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2の組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●D I A Mケイマン・ファンドー J a n u s グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2

国債については、期を通じて高めに保有しました。貿易摩擦の長期化や欧州の景気減速、英国のEU（欧州連合）離脱などを巡る不透明感が継続したことから、継続的に国債の組入比率を引き上げた一方、社債の組入比率を引き下げました。社債については、クレジットサイクルが終盤に差し掛かっていることを慎重に見て、投資適格級を中心に保有しました。通貨については、2018年における米国の段階的な利上げ実施や、米国外地域の経済指標の鈍化を考慮し、米ドルを中心に保有しました。

●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い政府保証債などで運用を行いました。

分配金

当期の収益分配金につきましては基準価額水準、市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年4月19日 ～2019年4月18日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,686円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A Mケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドクラス J P Y 2 を高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●D I A Mケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドクラス J P Y 2

主要国の中央銀行は、利上げを当面見送る可能性が高く、金利が現状から大きく上昇する可能性は限定的と見ています。その一方で、米国では労働市場のひっ迫と賃金上昇圧力を背景に緩やかに物価が上昇する可能性があり、利上げの完全凍結には至らない可能性も想定しています。欧州では成長率の減速懸念からECB（欧州中央銀行）が緩和的な方針を継続する可能性が高いと見ています。世界的に景況感が悪化していることから、引き続き、資産の保全を重視したポートフォリオを維持していく方針です。

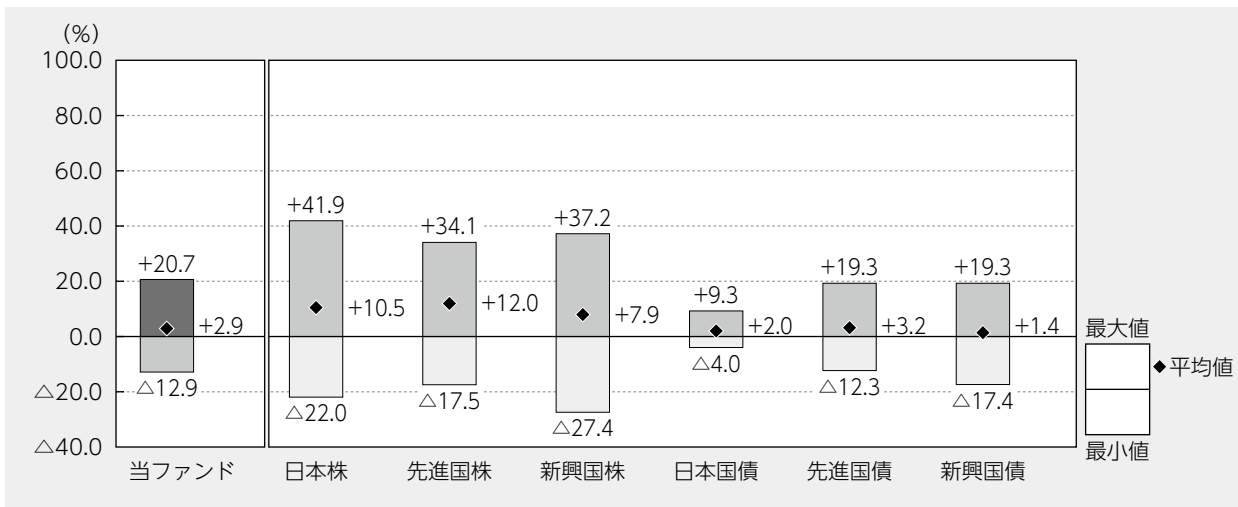
●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、政府保証債や地方債などを組入れた運用を行っていきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年4月2日から無期限です。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	円建て外国籍投資信託「D I AMケイマン・ファンドーJanus グローバル・コ アプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2」受益証券を主要投資対象としま す。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資 も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に内外債券に投資します。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、外国投資信託の流動性 および当ファンドの資金動向等を勘案の上決定します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
分配方針	決算日（原則として毎年4月18日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配 当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額 水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の 場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年4月～2019年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年4月18日現在)

◆組入ファンド等

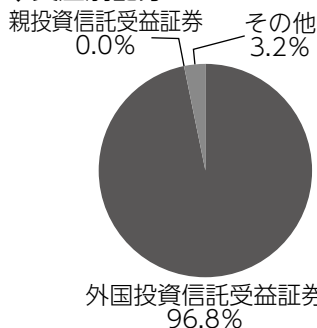
(組入ファンド数：2ファンド)

	当期末
	2019年4月18日
D I A Mケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2	96.8%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	3.2

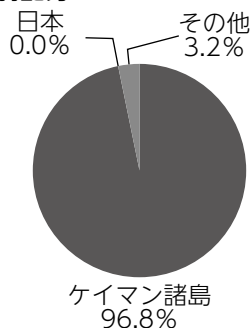
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

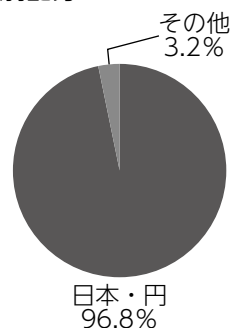
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

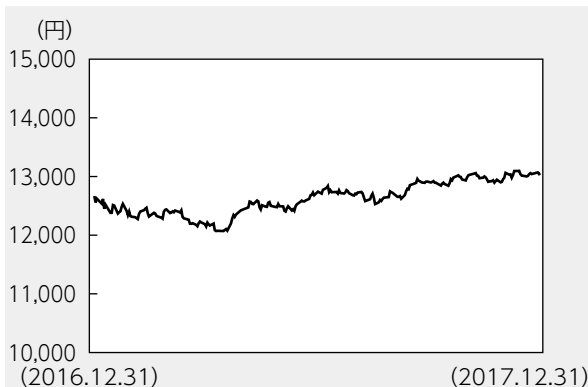
項目	当期末
	2019年4月18日
純資産総額	191,922,604円
受益権総口数	157,968,056口
1万口当たり基準価額	12,149円

(注) 当期中における追加設定元本額は17,128,793円、同解約元本額は18,925,815円です。

組入ファンドの概要

[DIAMケイマン・ファンド-Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス JPY2] (計算期間 2017年1月1日~2017年12月31日)

◆基準価額の推移



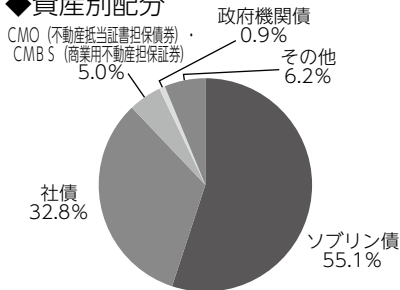
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ARGENTINA POM FLOAT 06/21/20 POM	アルゼンチン・ペソ	3.7%
JAPAN GOVT CPI LINKE 0.10% 03/10/27	日本・円	3.0
TSY INFL IX N/B 0.375% 07/15/2027	アメリカ・ドル	3.0
JAPAN GOVT 10-YR 0.100% 06/20/27 347	日本・円	3.0
PORTUGUESE OT'S 4.10% 02/15/45	ユーロ	2.6
NEW ZEALAND GVT 5.00% 03/15/19	ニュージーランド・ドル	2.5
AUSTRALIAN GOVT. 5.750% 05/15/21 124	オーストラリア・ドル	2.4
JAPAN GOVT CPI LINKE 0.10% 03/10/26	日本・円	2.0
US TREASURY N/B 2.000% 11/30/22	アメリカ・ドル	2.0
PORTUGUESE OT'S 4.125% 04/14/27	ユーロ	1.7
組入銘柄数	149銘柄	

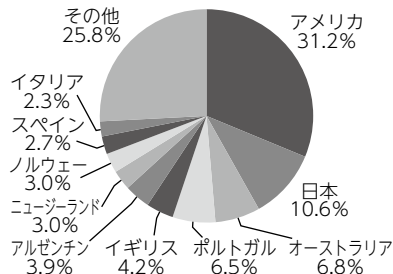
◆1口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

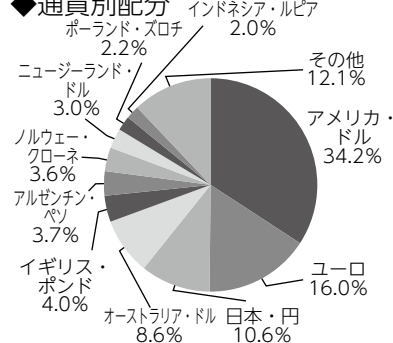
◆資産別配分



◆国別配分



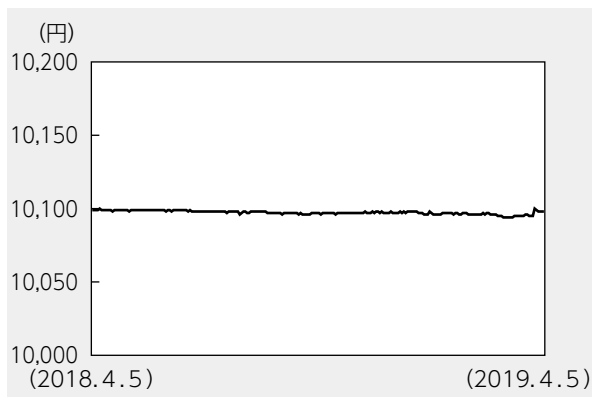
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はDIAMケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス JPY2の計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のものであります。また、分配金を再投資したのとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、DIAMケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はDIAMケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金の発生によりマイナスになることがあります。
- (注5) 国別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社である米国みずほ銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

◆基準価額の推移



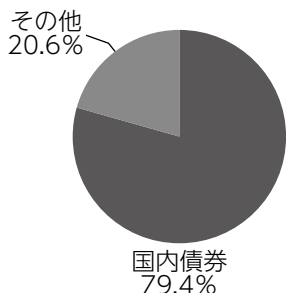
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
123回 利付国庫債券(5年)	日本・円	74.4%
391回 利付国庫債券(2年)	日本・円	1.2
301回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.2
392回 利付国庫債券(2年)	日本・円	0.6
388回 利付国庫債券(2年)	日本・円	0.6
21年度35回 兵庫県公募公債	日本・円	0.3
112回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.2
26年度4回 静岡県公募公債	日本・円	0.1
27年度2回 千葉県公募公債	日本・円	0.1
27年度 京都府京都市みらい債	日本・円	0.1
組入銘柄数	22銘柄	

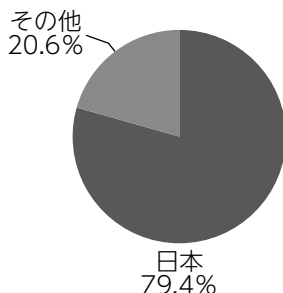
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

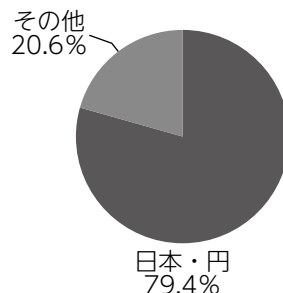
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。